

オオヨドカワゴロモを守る 清掃活動を実施

1月20日、平成28年3月に国指定天然記念物に指定された「オオヨドカワゴロモ」の自生地である岩瀬川の清掃活動を行いました。土木関係者、小林高校の生徒や市民有志ら約60人が参加。参加者は、オオヨドカワゴロモの生態や表面のゴミのとり方を学びながら清掃しました。



ほうきやブラシを使って、オオヨドカワゴロモの表面をこする参加者。滑りやすい足場に気を付けながら清掃を行いました



同協議会吉村秀昭会長は「多くの人に参加してもらえてうれしい。活動の輪を広げてさらに地域を盛り上げたい」と話していました

南校区で15年ぶりに復活 おねっこ祭りを開催

1月13日、おねっこ祭り（南校区まちづくり協議会主催）が開催されました。南校区での開催は15年ぶりで、約300人が来場。10尺の高さに組まれた竹にしめ縄や門松を装飾し、点火すると大きな音とともに激しく燃え上がりました。その後、竹に刺した餅を残り火で焼いて食べ、無病息災を祈りました。

取り組みを紹介します

きずな協働体 今月は、須木地区

須木をお祭りで盛り上げます！

本年度4月から新しくイベント部会を設置しています。毎年、5月の「滝まつり」、8月の「すき納涼花火大会」、9月の「栗まつり」、11月の「ほぜまつり」の4つのお祭りを中心に活動しています。五穀豊穡を祝うほぜまつりでは、伝統のほぜっこ相撲が少子化の影響で参加者が減っていま

すが、近年はえびの市からのチームが参戦し、会場を熱気に包んでくれています。赤ちゃんの健やかな成長を祈った土俵入りも毎年たくさんの参加をいただいています。来年も、楽しんでいただけるようなお祭りを企画しますのでたくさんのご来場お待ちしております。



土俵際の熱戦に会場は大盛り上がりです！



「さまざまな祭りを開催し、地域のみんなで協働して、交流人口の増加を目指します！」

小林市まちづくり協議会
イベント部会
永迫 博成 部長

小林産の美味しいものタップリ 地井シェフと新商品に挑戦

12月15日、小林市・食と農の魅力創生シェフである地井潤シェフを講師に、小林シュトーレン・ワークショップが開かれました。シュトーレンとは、クリスマスに食べられるドイツの伝統菓子。参加者は、小林産のドライフルーツやワインを使用した新たな小林名物作りに取り組みました。



会場となった宮崎県農業試験場 葉草・地域作物センターに、地元生産者や加工業者など14人が集まりました



左から前田さんと崎山さん。2人は、11月に開催された九州大会にも出場し、見事、優良賞を獲得しました。

木工の技術を競う大会で 須木中生徒2人が好成績

10月に開催された、木工チャレンジコンテスト宮崎大会で須木中学校の前田樹里さん（3年）が優勝、崎山大樹さん（2年）が3位になりました。前田さんは「昨年のリベンジを果たし、優勝できてうれしい」、崎山さんは「練習よりもいい作品ができて良かった」と話していました。

てなんど小林プロジェクト 写真コンテスト表彰式を開催

1月13日、てなんど小林プロジェクト第4回写真コンテストの表彰式をKITTO小林で開催しました。今回のテーマは、「小林の夏」で、応募総数は87点。村岡宏樹さん（＝鹿児島市）が最優秀賞、大出水正さん（＝南西方）が優秀賞と入選、山田宏作さん（霧島市）が入選を獲得しました。



左から山田さん、大出水さん、村岡さんと肥後市長。コンテストの結果はてなんど小林特設サイトでも確認できます



一斉放水をする団員ら。現在、男女問わず団員を募集しているので興味のある人は危機管理課（Tel 23-1175）まで

火災ゼロや地域安全誓う 消防出初式を開催

1月7日、新春恒例の消防出初式が消防訓練広場で行われました。西諸広域消防本部の職員や消防団員、地域住民など約500人が参加。通常点検や分列行進、消防功労者への表彰、一斉放水などが行われ、団員らは新年を迎え気持ちを新たに火災ゼロや地域の安全を誓いました。

